

令和5年度 学校関係者評価結果

◎教職員アンケート結果の数値について

評価基準 【4：十分である、3：概ね十分である、2：やや不十分である、1：改善を要する】

◎学校関係者アンケートの数値について

評価基準 【4：適切な評価である、3：ほぼ適切な評価である、2：やや不適切な評価である、1：不適切な評価である】

		教職員		学校関係者
1 学校教育目標（一人一人を大切に、豊かな心の育成をめざす）				
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	3.1	3.3	3.6	
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	3.6			
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	3.0			
④ 地域文化と自然を愛する心	3.6			
2 スクールミッション				
① 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成	2.8	2.9	2.8	
② 地域における体験的な学習活動等を通じて、望ましい勤労観、職業観を身に付け、地域創生に資する生徒の育成	2.9			
3 スクールポリシー（育成目指す資質・能力に関する方針）				
① 課題解決に取り組む人材の育成	2.9	3.0	3.3	
② 地域社会に貢献できる人材の育成	3.1			
4 スクールポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）				
① 基礎的な学力を身に付け、個々の目標に向けて取り組む姿勢を育む	2.7	3.0	3.5	
② 他者と協働し、実践的な活動をととしてコミュニケーション能力を育む	3.2			
5 学習指導				
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	3.1	2.9	3.3	
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	3.2			
③ 学習意欲を引き出す、シラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	3.0			
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	2.2			
6 生徒指導				
① 心のふれあいを重視し、人間関係を基調とする指導に努める	3.5	3.3	3.7	
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方生き方を考えさせる指導に努める	3.3			
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	3.3			
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	3.2			
7 進路指導				
① 各種行事をととして望ましい勤労観・職業観の育成に努める	3.0	3.1	3.7	
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	3.0			
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	3.2			
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路支援体制の充実に努める	3.0			
8 健康安全指導				
① 健康相談等をととして自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	3.3	3.5	3.9	
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	3.3			
③ 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し健康安全に係る意識を高め事故防止に努める	3.5			
④ 清掃や奉仕活動等を通して、学習環境、地域環境を整備し美化意識の育成に努める	3.7			
9 事務部				
① 各分掌、学年、委員会との連携を図り、教育活動を支援する	-	-	-	
② 常に創意・工夫した事務改善を行い、学校事務の効率化を図る	-			
③ 適切な予算編成と計画的に予算を執行する	-			
④ 清掃や奉仕活動等をととして、学習環境整備、地域美化意識の育成に努める	-			
10 遠隔授業				
① 個に応じた指導の充実（受信側教員の評価方法の充実）に努める	3.0	3.0	3.5	
② 学習の選択幅の拡大(他教科への導入の研鑽)に努める	3.0			
③ 指導力の向上に努める	3.0			
④ 教員の資質向上に努める	3.0			

教職員自己評価については、平均して「概ね十分である」という評価以上となっている。その中において、「家庭学習の定着」「基礎的な学力を身に付けるための個々の取り組み姿勢」、「主体的な進路の選択決定をするための資質・能力の育成」、「地域創生に資する生徒の育成」、「課題解決に取り組む人材の育成」が課題である。学校関係者の皆様からは、教職員自己評価に対し概ね「ほぼ適切である」から「適切である」という評価をいただいている。